

戦国期権力佐竹氏の研究

佐々木 倫朗 著

2011年4月刊行

A5判・300頁／定価6,090円(税込) ISBN978-4-7842-1569-0

本書は、戦国期における常陸国佐竹氏の考察を通して、東国に存在した政治権力の特質を明らかにする。従来進められてきた北条氏を中心とする東国諸権力研究に対して、北条氏と対立する勢力圏を形成し、その権力的性格を異にする佐竹氏をめぐる研究は、先行研究の所論の可否も含め、実証的な考察を行う余地が残されており、本書では室町期から戦国期にかけ、佐竹氏がどのような過程をへて権力形成を行ったのかという基礎的な課題をはじめ、一族衆や国衆等の活動、佐竹氏と地域社会との関わりやその地域編成について、佐竹氏が発給した「知行充行状」・秋田藩家蔵文書等の史料を通じて考察することで、従来捨象されがちであった戦国期の権力編成の姿を浮き彫りにする。

内容目次

第1章 戦国期権力佐竹氏の成立過程

第1節 佐竹義舜の太田城復帰と「佐竹の乱」

「佐竹の乱」の特質

明応の和議

義舜の太田復帰の意義

第2節 永正期における佐竹氏の下野出兵

永正期の佐竹氏をめぐる情勢

佐竹氏の下野出兵

那須地域の政治情勢

佐竹氏の依上保進出

常陸北部の有力国人の動向

常陸北部における佐竹氏の権力基盤の確立

第3節 佐竹氏の小田進出と越相同盟

上杉謙信の越山と永禄七年の小田城攻略

永禄十二年の小田攻略と越相同盟交渉

佐竹氏の小田支配と太田資正・梶原政景

第2章 佐竹氏の権力構造と三家の活動

第1節 佐竹氏の南奥支配と東家義久の活動

南奥進出の展開

義久による佐竹氏の南奥支配の展開

義久による「指南」

第2節 北家義斯の活動

義斯発給文書の編年化

義斯の活動

義斯の活動の位置

第3節 三家の政治的位置

三家の創出と研究史における佐竹三家の位置

三家による詔言の上申・下達

佐竹氏権力の構造と三家の位置

第3章 佐竹氏権力の地域編成

第1節 佐竹氏領国内編成の地域的偏差

佐竹義篤護状と室町期の常陸北部

佐竹氏の充行状の発給状況とその分布

佐竹氏の充行状の形態

第2節 佐竹氏の陸奥南郷経営

佐竹氏による支配の確立

南郷(高野郡)の再編成

支配の進展

第3節 佐竹氏の南奥進出と船尾氏の存在形態

船尾氏の出自と佐竹氏

佐竹氏の南奥進出と船尾昭直

南奥の情勢と船尾氏の帰趨

佐竹氏南奥支配と船尾氏の存在形態

ささき・みちろう…1966年静岡県生まれ。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科中退、博士(文学)。大正大学文学部准教授。主要論文に「東国『惣無事』令の初令について」(『中世下野の権力と社会、中世東国論③』所収、岩田書院、2009年)、「秋田県公文書館所蔵『古本佐竹系図』に関する一考察」(『中世武家系図の史料論』下巻所収、高志書院、2007年)、「戦国期『境目』における領主層の動向」(『戦国史研究』50号所収、2005年)など。

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 tel075-751-1781 fax075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行:思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	戦国期権力佐竹氏の研究	本体5,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1569-0
お名前		tel		
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由(このらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)			書店番線印

戦国大名武田氏の権力構造

丸島和洋著

戦国大名はどのような伝達ルートを通じて家中の内外との意思の疎通を行ったのか？本書は甲斐武田氏を分析対象とし、家中を代表して他大名との外交を担った「取次」に着目。領国支配における意思伝達経路の検討と併せて、大名権力の中核を構成する家臣や、大名と家臣の関係について見つめ直し、戦国大名の権力構造を明らかにする。

▶A5判・432頁/定価8,925円 ISBN978-4-7842-1553-9

戦国期関東公方の研究

阿部能久著

思文閣史学叢書

関東府の長である関東公方権力の戦国期から江戸期初頭にかけての諸問題の解明に取り組む。公方発給文書の様式変化にみる権力構造の実態、鶴岡八幡宮・鏖阿寺や禅宗・一向宗などの寺社勢力との関係、関東公方家の後裔である喜連川家の幕藩体制下の位置、さらに武家故実書『鎌倉年中行事』の成立背景を探る。

▶A5判・320頁/定価5,985円 ISBN4-7842-1285-X

中世東国の支配構造

佐藤博信著

思文閣史学叢書

鎌倉府の歴史的性格を決定づけた武州河越合戦、鎌倉府体制下の相模守護のあり方、国人層とその関係、奉行人の軌跡、古河公方足利氏を生み出した東国の内乱＝享徳の大乱の諸段階の検討など、室町・戦国期の政治過程を、更に鏖阿寺文書・正木文書・喜連川家文書・福田家文書などの関係史料を検討。

▶A5判・410頁/定価8,190円 ISBN4-7842-0554-3

江戸湾をめぐる中世

佐藤博信著

江戸湾西岸の問題の再検討と、江戸湾東岸の問題を取り上げ江戸湾を総合的に捉え、そこでの人と物の流れを時の権力者との絡みから再検討した11篇。多数の関係史料により、権力闘争を生み出す江戸湾における社会的な富とは一体何であったのかを考察し、当該地域において実際に活動していた氏族の存在とその歴史的性格（専門職能）を解明。

▶A5判・270頁/定価5,880円 ISBN4-7842-1045-8

※戦国大名武田氏の研究

笹本正治著

思文閣史学叢書

甲斐武田氏を素材にして、戦国時代の国境の在り方、棒道に代表される道の意味、国人領主を支配下に組み込む過程、さらに民衆の側から見た戦国大名、職人・商人の支配構造を明らかにしていく論考14篇。従来の研究に対し「あまりに武田氏の権力を大きく評価しすぎたのではないか」とする著者は、いくつかの問題を投げかけている。

▶A5判・440頁/定価8,190円 ISBN4-7842-0780-5

※戦国大名の外交と都市・流通 豊後大友氏と東アジア世界

鹿毛敏夫著

思文閣史学叢書

西日本の戦国大名のアジア外交の実態とそこに潜む意識構造について解明するとともに、政治・経済・文化的にアジア諸国と緊密な関係にあった西国大名による都市・流通政策の実態を明かす。

【内容】第一部 中世都市の構造と特質/第二部 大名権力の流通政策/第三部 大名権力の対外交渉

▶A5判・300頁/定価5,775円 ISBN4-7842-1286-8

京都の都市共同体と権力

仁木宏著

思文閣史学叢書

中世京都の都市構造モデルを前提に、その変容のなかから町（ちょう）の成立を読み解く。自力救済社会における武家と都市民の対峙が、やがて公儀を創出し、都市共同体を確立させることを明らかにする。中近世移行期における自治、共同体、権力の葛藤を正面から見すえ、都市の本質を具体的、理論的に分析した一書。

▶A5判・332頁/定価6,615円 ISBN978-4-7842-1518-8

東寺百合文書 既刊8冊

京都府立総合資料館編

東寺百合文書とは、東寺に襲蔵されてきた、奈良時代から江戸時代初期まで約九百年にわたる、総数一万八千点・二万七千通におよぶ日本最大の古文書群である（平成9年国宝に指定）。本史料集には「ひらかな之部」刊行中の『大日本古文書』未収録の「カタカナ之部」を翻刻。既刊8冊【年1回刊行】

▶A5判・平均440頁/各定価9,975円

室町・戦国期研究を読みなおす

中世後期研究会編

若手研究者が提示する研究の過去・現在・未来【内容】I 政治史を読みなおす [公武関係を読みなおす] 松永和浩・桃崎有一郎 [都鄙関係を読みなおす] 山田徹・吉田賢司・平出真宣・尾下成敏 II 社会史を読みなおす 西島太郎・清水克行・三枝暁子 III 経済史を読みなおす 早島大祐・高谷知佳 IV 宗教史を読みなおす 大田壮一郎・安藤弥

▶A5判・408頁/定価4,830円 ISBN978-4-7842-1371-9

※戦国期東国の都市と権力

市村高男著

思文閣史学叢書

東国戦国史の雄である後北条氏に対決した下野の小山氏、下総の結城・山川氏、常陸の佐竹・多賀谷・土岐・岡見氏、武蔵の成田氏などの諸権力を分析、それとの関連で都市（城下町）の実態を追求。

【内容】第一編 東国領主の権力構造/第二編 北条氏と東国領主/第三編 東国の戦国期城下町

▶A5判・580頁/定価11,340円 ISBN4-7842-0855-0

※統中世東国の支配構造

佐藤博信著

思文閣史学叢書

南北朝から戦国期における東国の権力構造の諸問題を多方面から明かした論考18篇を収める。関東足利・上杉両氏の動向を中心に、内乱、家臣団をめぐる諸相、都市・寺社論。さらには下総光福寺文書・鏖阿寺文書・常陸戸家文書・扇谷上杉朝良文書・上総大野家文書などの史料論にもおよぶ論集。

▶A5判・358頁/定価8,190円 ISBN4-7842-0916-6

室町期東国社会と寺社造営

小森正明著

思文閣史学叢書

鎌倉府体制下にあった室町期の東国社会に、寺社造営事業と寺社領経済が与えた影響を考察。「香取文書」など中世東国の「売券」の分析に基づく成果。【内容】第1章 寺社造営の推進主体と鎌倉府/第2章 寺社造営の経済的基盤と鎌倉府/第3章 寺社領における有徳人と売買・貸借/第4章 寺社領経済と蔵本の活動

▶A5判・356頁/定価7,350円 ISBN978-4-7842-1421-1

瀬戸内海地域社会と織田権力

橋詰茂著

思文閣史学叢書

特産物の塩、周辺物資の海上輸送、在地権力の動向、海賊衆や真宗勢力の台頭、制海権をめぐる抗争など、瀬戸内海・四国をとりまく実態を解明。

【内容】第一編 瀬戸内海社会の形成と展開/第二編 瀬戸内海社会の発展と地域権力/第三編 地域権力と織田権力の抗争

▶A5判・396頁/定価7,560円 ISBN978-4-7842-1333-7

中世京都の空間構造と礼節体系

桃崎有一郎著

貴人と牛車ですれ違う場合の正しい作法は？ 参内するときはどこで牛車を降りればよいのか？ 中世の京都で実践された礼節体系の考察を通じて、中世京都の空間構造を明らかにし、室町殿権力の形成・展開過程をも論ずる。【内容】中世武家社会の路頭礼・乗物と公武の身分秩序/中世における朝儀出仕と里内裏周辺空間秩序 ほか

▶A5判・584頁/定価7,560円 ISBN978-4-7842-1502-7

※中世都市共同体の研究

小西瑞恵著

思文閣史学叢書

自由都市論から封建的都市論への転換にみられた新しい研究動向を受け、都市共同体の全体構造や多様な都市住民の実態に迫る。【内容】惣町と会合の発達 地主神の祭礼と大山崎惣町共同体/戦国都市の形成と自治/大湊会合の発達 都市論と長者論をめぐって 豊田武の都市論・会合衆論について/安良城盛昭の奴隷制社会論について ほか

▶A5判・340頁/定価6,720円 ISBN4-7842-1026-1

武士と騎士 日欧比較中近世史の研究

小島道裕編

武士と騎士の比較は比較史の中ではポピュラーなテーマといえよう。しかし、日欧の研究者が、研究を持ち寄り突き合わせるという機会は稀である。本書は人間文化研究機構連携研究「武士関係資料の総合化」の一環として、日仏で行われた国際シンポジウムの成果。具体的な資料に基づき、多様な側面から武士と騎士をとりあげた19論考。

▶A5判・512頁/定価9,450円 ISBN978-4-7842-1507-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。